

国

際

友

子どもたちが積み重ねた交流が礎となって、
国際友好都市提携が実現。



レイクマコーリー市(オーストラリア)
H6.5.12調印



西暦二〇〇〇年八月に行なわれたシドニーオリンピックの際は、レイクマコーリー市で開催されたオリンピック聖火リレー祝典イベントに、棚倉六万石太鼓婆沙羅童心隊のメンバーが同市長の招待を受けて参加し、太鼓演奏を披露するなど、より一層の交流が行なわれています。

いま、棚倉町の子どもたちは大きな夢を抱きながら、国際友好都市交流や海外での体験などを通して得た広い視野を持つて、棚倉町を未来へと導いていきます。



国

際性豊かな人づくりをめざし、棚倉町はかねてから交流のあつたオーストラリアのレイクマコーリー市と平成六年五月に国際友好都市提携を結びました。

提携のきっかけは、レイクマコーリー市の国際交流員、ジリアン・フーパーさんを招致したことから始まりました。その後カーディフハイスクールと棚倉中学校の姉妹校締結や、棚倉小学校とガーデン・サバーブ小学校の締結が実現し、子どもたちを中心とした文化・教育の交流が活発に行なわれました。そしてホームステイや研修、留学、また英語指導助手の招致、棚倉町職員の派遣などを通して、さらに友好を深めていきました。

西暦二〇〇〇年八月に行なわれたシドニーオリンピックの際は、レイクマコーリー市で開催されたオリンピック聖火リレー祝典イベントに、棚倉六万石太鼓婆沙羅童心隊のメンバーが同市長の招待を受けて参加し、太鼓演奏を披露するなど、より一層の交流が行なわれています。

いま、棚倉町の子どもたちは大きな夢を抱きながら、国際友好都市交流や海外での体験などを通して得た広い視野を持つて、棚倉町を未来へと導いていきます。